

目標達成計画

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36	利用者の個人情報などが、第三者に見られることがないように、管理することが必要である。	個人情報が第三者の目に触れないようにする。	常に必要としている情報等に関しては、環境上の違和感を感じないようなかたちで目隠しをする。	2ヶ月
2	33	重度化した場合や看取りについての方針を明文化することが必要である。	看取りについての方針を明文化する。	法人内グループホームの[看取りに関する考え方]に、再度、スタッフ間で話し合い、事業所独自の項目の加除を行う事とする。個々への具体的な関わりに関しては、マニュアル化できないため、ケアプランを基にして対応することを確認した。	1ヶ月
3	23 26	利用者の思いや意向を、よりいっそう支援に反映できるよう、センター方式アセスメントを用いた情報共有のあり方について職員全体で再度検討が必要である。	スタッフが利用者の思いや意向を把握できるよう、情報共有のあり方をシステム化し、活用する。	システム化はすでに完成している。その手段を実質的に活用し、情報共有に活かす。	2ヶ月
4	35	地域の方々にグループホームを知っていただく努力をするとともに町内会長などを通じて地域の消防団の協力をいただけるような働きかけがあると良い。	緊急災害時に地域の消防団の協力をいただく働き掛けをする。	自治会長を通じ、協力をいただけるような働きかけを行う。	6ヶ月
5					ヶ月